

ねむろ 市議会だより

第4号

平成25年5月1日

発行／根室市議会

根室市常盤町2の27
根室市議会事務局
TEL (0153) 23-6111
FAX (0153) 24-5820

第1回市議会定例会



平成25年第1回市議会定例会が3月4日から3月22日までの19日間開かれました。

代表質問では、4人の議員がそれぞれの会派を代表して市政に関する諸問題などについて質問し、一般質問では6人の議員が質問を行いました。

最終日までに、平成25年度一般会計及び各会計予算のほか、「根室市特別奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例」や「根室市福祉交流館条例」など議案47件、報告2件、意見書5件が、可決、承認されました。

また、「根室市議会基本条例」が3月1日施行となり、今後さらに具体的な議会改革に向けた取り組みを進めてまいります。

目 次

・平成25年第1回定例会	1
・平成25年第1回定例会会議日程	2
・第1回定例会各会派代表質問	3
・第1回定例会一般質問	7
・第1回定例会各委員会質疑	9
・第1回根室市議会定例会議決結果一覧表	10
・第2回市議会定例会日程(予定)	12

平成25年 第1回定例会

・会議日程

会期 平成25年3月4日(月)～3月22日(金)〈19日間〉

3月4日(月) ○本会議(第1号)

開会／議会運営委員長報告／行政報告／会期の決定
／議案第1号から議案第34号／『市政方針』『教育行政方針』／議案第42号／議案第35号から議案第41号
及び議案第43号並びに報告第1号から報告第2号〈平成24年度補正予算 先議〉／報告第3号

3月5日(火)～3月11日(月) ○休会

☆議案調査等のため休会

3月12日(火) ○本会議(第2号)

代表質問4会派

(市政クラブ⇒日本共産党⇒新風⇒創志クラブ)

3月13日(水) ○本会議(第3号)

一般質問6人／提出議案説明、各常任委員会付託、
第1・2予算審査特別委員会設置、付託

3月14日(木) ○常任委員会

総務 議案第1号、第2号、第3号
文教厚生 議案第4号、第5号、第6号、第7号、
第8号、第9号、第10号、第11号、第12号、第13号、第22号、第23号
産業建設 議案第14号、第15号、第16号、第17号、
第18号、第19号、第20号、第21号

3月15日(金) ○予算審査特別委員会(第1号)

消防費、議会費、総務費、一般会計補正予算(総務費)／流通加工センター／港湾事業／病院事業

3月16日(土)～3月17日(日) ○休会

3月18日(月) ○予算審査特別委員会(第2号)

民生費、衛生費、土木費、一般会計補正予算(土木費)／農業用水／水道事業／下水道事業

3月19日(火) ○予算審査特別委員会(第3号)

労働費、農林水産業費、商工費、教育費

3月20日(水) ○休会

3月21日(木) ○予算審査特別委員会(第4号)

公債費～予備費、

【歳入】市税～市債／採決

交通共済／国民健康保険／介護保険／後期高齢者／採決

3月22日(金) ○本会議(第4号)

各委員長報告・採決／議案第46号／議案第47号／意見書案／閉会

代表質問



市政クラブ

会長 千葉 智人 議員

【質問】平成二十五年度予算編成にかかわっての基本的な考え方について伺う。厳しい財政状況の中、また、予算編成が大詰めになったところに国の「十五ヵ月予算」に伴う大型補正予算が措置されたが、そのような中、市長はどのような基本的な考え方に立って平成二十五年度予算編成に臨んだのか。

【答弁】厳しい財政状況の中「根室再興政策プロジェクト」の推進、喫緊の課題である「防災減災対策」「高齢者対策」「教育環境の充実」などに積極的な施策の確保に努め、国の「緊急経済対策」についても切れ目のない予算執行、また、市中経済の活

性化に努めた予算編成を行った。

【質問】第九期の総合計画策定にあたっては市民の参画の下、作成をしていくと思うがどのように作成していくのか、また、庁内的には各部、各課、市役所に働くすべての職員の業務の指針としてまとめられる計画であり、それにかかわる庁内体制の整備や職員の意識づけについての考え方。

【答弁】第九期総合計画の施策形成段階からより多くの市民参画機会を設けて、より多くの市民・企業・団体などとの協働がより活発になるようなきっかけとなる計画作りをしていく。また、庁内には策定本部会議と分野別

委員会を設置し、職員提案の募集も検討する。

【質問】新市立根室病院が仮開院して、これまでも開院後を見据えて、患者増対策、患者サービスの充実に努められてきた。今回、仮開院を迎え新しい病院になってハードの整備後の新たな取り組みが進められていくと思うが、平成二十五年度以降どのような新しい取り組みを考えているのか。

【答弁】内科、整形外科、外科において午後の新患外来を行い、内科でも禁煙外来を開始する予定になっている。

また、企業健診の受診枠の拡大や新たに脳ドックの実施について取り組んでいく。

【質問】今回の市政方針で「水難事故の対応強化を図るため、水難救助隊などの調査研究に取り組む」という方針が示されたが、

具体的に来年度どのような調査研究をして行く予定になっているのか伺う。

【答弁】本年二月に、消防署内に「救助活動高度化委員会」を設置し検討を進めている。

平成二十五年度は道内先進地を視察し、水難救助業務の調査研究をしていく。

【質問】教育行政方針で示された、平成二十五年度からスタートする「子ども読書活動推進計画」の策定趣旨、内容について。

【答弁】根室の子どもたちがあらゆる機会とあらゆる場所において本と親しみ楽しむことが出来る環境整備、読書の楽しみと生きる力を育むために策定。基本的内容は「読書に親しむ機会の提供」「読書環境の整備・充実」「読書活動を推進するための連携・協力」の大きく三本の柱となっている。

代表質問



日本共産党

幹事長 橋本 竜一 議員

【質問】政府の緊急経済対策により、所得が上がらないままインフレの影響を受ける中間から低所得者層への影響を懸念。市として、「住民の生活をまもる」観点から対策が求められる。

【答弁】市民生活の実態を十分に把握し、自治体本来の使命である「住民のいのち、健康と安全」を守る総合的な判断のもと、市民ニーズを的確にとらえ、施策の推進に取り組む。

【質問】地域力強化分析の調査結果を、どのように活かすのか。

【答弁】この調査結果をもとに、産業振興の課題、環境の変化、市の持つ潜在能力、市民意識を把握する。そして目指すべき産業活性化策の「柱」と「具体的施策」を明らかにする「ねむろ

明日の産業づくり事業」に取り組む。

【質問】沿岸漁業振興計画の策定には、科学的な知見を取り入れながら、しっかりとした枠組みで行なうべき。

【答弁】大学や研究機関との連携を図る。

【質問】政府のTPP交渉への参加について、当市の産業・経済への影響をしっかりと分析していくことが必要。

【答弁】日本がTPP協定に参加した場合、当市の酪農は、外国製品との価格競争にさらされ対抗できない。

漁業では主要水産物のコンブ・サンマ・ホタテガイなどに影響。当市にとって地域経済の崩壊を強く懸念。具体的情報が無く影

響を分析することは困難。

北海道や関係機関・団体と連携し、十分な情報開示と説明を求める。国民合意がないままでのTPP参加に断固反対する。

【質問】太平洋沿岸部の津波の危険性が高い地域の避難所や避難路など、ハード面の整備は費用も時間もかかる。市として現状の課題にどう取り組むのか。

【答弁】初田牛から納沙布の沿岸地域には、一、二八七世帯三、八六九人が生活し、対策が喫緊の課題。被害想定される地域が広範囲で、道路整備に多額の支出が必要など課題は山積。

災害から命を守るための施策について、市民・地域・行政がそれぞれの役割を明確にし、共有化を図りながら推進する。

【質問】自主防災組織について、組織活性化の課題は主に人手不足と住民自身の防災意識の問題が大きい。今回の補助制度の目的と期待される効果は。

【答弁】自主防災組織の活動に必要な経費の一部を助成する補助金制度を創設。組織率の向上と地域に即した活動促進が目的。

今後は組織間の連携した活動も視野に、必要な施策を推進する。

【質問】新病院の重点課題は。

【答弁】医療スタッフの安定的な体制構築が最優先課題。

医師招聘活動・看護師確保や定着のための支援制度の充実など、患者ニーズに応えられる診療体制の構築に努め、経営を健全化する。

【質問】いじめや体罰などから子ども達を守るための体制は。

【答弁】いじめについては学校長を中心とした校内体制で対応している。

児童生徒や保護者が希望する場合やいじめが深刻な場合などに、スクールカウンセラー等が直接話を聞くなどの役割をしている。

代表質問



新

代表 佐藤 敏三 議員

【質問】市長の市政執行に当たって、世界・日本・根室市の移り変わり状況をどの様に感じているのか。

【答弁】市長就任から六年が過ぎようとしているが「情報・物・人」の交流が拡大し、世界経済の構造が大きく変化してきている。また、経済生産活動の拡大に伴い環境問題の深刻化、中東やアフリカ情勢の不安定化、ヨーロッパにおける信用不安など多様な問題が発生している。

日本では人口減少や少子化が急激に進行、産業の空洞化による経済活動の縮小や国際社会における地位の低下、領有権をめぐる近隣諸国との関係の複雑化や東日本大震災からの復興など大きな問題を抱えている。

地方自治体を取り巻く環境は地方分権社会の進展、住民ニーズやライフスタイルの多様ななど、大きな社会的環境の変化への対応が求められている。

根室市は北方領土問題の未解決や産業経済の低迷から、人口減少、経済活動の縮小等が懸念されている。

【質問】「根室再興政策プロジェクト」の担う役割と位置づけ及び産業分野をはじめとして、各分野毎の到達目標を予め設定する必要性について。

【答弁】本プロジェクトは、第八期総合計画の期間終了となる平成二十六年度末を目処に施策の具体化と、その着実な推進を図るための「行動計画」であり、当面、重点的に取り組むべき課

題を明らかにしながら進めている。施策の目標や達成度に関する数値設定は難しい課題と考えているが、このプロジェクトは「地域収支五十八億円の赤字解消」、「新卒者地元就職率九十％台の到達」、「根室に住み続けた」と思う市民割合八十％以上」など関連する指数を設定し、実効性のある推進に努めている。

産業分野に関する指数設定については商工会議所の協力を得ながら説明と評価等に務めたい。

【質問】「北方基金」の域内運用の必要性について

【答弁】隣接地域の振興には、北特法による振興基金等による財源措置が講じられているが、充分だとは言えない状況にある。

国や北海道に対し、北方基金の域内運用をはじめ様々な財源確保について要望している。

【質問】市立根室病院の経営健全化に向けた取り組みとスケジュールについて。

【答弁】経営形態の見直しについては、これまでも答弁してきたように「地方公営企業法の全部適用」を中心に院内の合意形成を進めながら方向と結論を平成二十五年度中に示したい。

【質問】市内高等学校2校体制の見直しの動き及び統合による一校体制の影響調査について

【答弁】市内高校の配置については、根室市内高校問題検討委員会の作業部会において検討協議されている。

二校体制と一校体制のメリット・デメリットについて調査したり、子供達にとってどの様な高校が必要か等の検討を行い、この一月二十一日に検討案を取りまとめたいただいたところである。

三月二十六日に高校問題検討委員会を開催して報告する事になっている。今後、市長部局並びに議会との協議を踏まえ根室市の考え方を道教委に伝えていく。

代表質問



創志クラブ

会長 滑川 義幸 議員

【質問】第九期根室市総合計画の策定とその進め方について。

【答弁】平成二十七年度スタートする総合計画策定にあたっては、十六歳以上の市民三千人を対象としたアンケート、メール等での意見募集のほか、幅広い分野と階層の方々に構成する市民会議の設置を考えている。

また、議会との情報交換の場も設け、方向性の共有を図る。

【質問】北方領土問題と地域振興について、先月モスクワで行われたプーチン大統領と森元総理の会談で、森元総理がロシア極

東地域の発展に向け、日ロの政

官学関係者による委員会の設置を提案したところ、前向きな返事をした。

もし実現した場合、その委員

会を北方領土の見える洋上での開催を提案してはどうか。

【答弁】大変意義あるものと認識するところであり、誘致について検討する。

【質問】平成二十五年度も「北方領土返還中央アピール行動」は実施するのか。

その際、今まで以上に内容の工夫を図ってはどうか。

【答弁】本年度も実施する。内容については検討する。

【質問】国営環境保全型（根室地区）かん排事業とTPP問題について

【答弁】本事業は平成二十五年から平成三十五年までの十一年間で、参加農家八十戸を想定している。

施工にあたってはJA道東あさひと受益農家で構成する「根室地区環境保全農家推進協議会」と調整を行い、順次整備をしていく。

TPPに関しては引き続き、北海道や関係する機関・団体と連携し、参加交渉には断固反対していく。

【質問】「確かな学力向上」の取

り組みの推進について、平成二十四年度に実施された全国学力調査の結果、当市の場合、全道平均でもかなり下回っており極めて深刻な学力不足である。

今後具体的にどう学力向上のための対策を講ずるのか。

【答弁】当市の平成二十四年度の全国学力テストの結果は、中学校においては全道平均と比較して「やや低い」、小学校では「相当低い」という結果であることから、平成二十五年度においては、補助教員の配置を小学校まで拡大する事に加え、市独自の統一学力調査を小1から中2までを対象にし、学力向上に寄与できるよう努力する。

一般質問



久保田 陽 議員

【質問】将来推計人口を踏まえ、人口減少対策を明確にした施策を次期総合計画に反映すべき。また、

根室市経済の向上を目指すには、沿岸漁業の取組を積極的にすべきであり、そのためには沿岸海域の環境整備の充実強化をすべき。中心市街地の活性は、第七期振興計画の根室港整備と一体とした中心市街地整備は必要。そのために「マスタープラン」を基にした各課連携の取組が必要。少子化が進む中で、子育て総合支援センターを設置し、総合的な子育て

を実行すべきであり、その施設は統合後の学校施設などの再利用も検討すべき。

【答弁】次期総合計画策定で少子化対策も位置づける。

また、産業振興は、現在取り組んでいる地域力分析を基に、「あるべき姿」を明確に具現化する。

港湾の再開発と一体となった中心市街地の活性は、慎重に協議する。

子育て総合支援センターは、他地域を参考に総合的に検討する。

一般質問



北川 實 議員

【質問】北方領土墓参は、現在年二回、北王丸で行われているが、元島民の平均年齢も七十八歳と高齢となり足腰の衰え等で大変ご苦労されながらの参加となっている。

そこで、バリアフリーの整っている「エトピリカ」を利用し墓参をすることで参加者の負担軽減を図るべきであり、国や道に強く要請すべきと考える。

【答弁】「エトピリカ」の利活用を含め、元島民に配慮した対策

を講じていただくよう、北海道や関係団体と協議をしていきたい。

【質問】学校における体罰の問題が全国的に問題となっているが、当市の小中学校の実態はどのようになっているのか。

【答弁】現在、児童生徒及び保護者への直接アンケートにより

体罰の実態調査をしてその把握に努めているところであり、

文科科学省で結果を公表する際に教育委員会として判断してまいりたい。

一般質問



神 忠志 議員

【質問】人口減少・少子高齢化社会が産み出す所得階層の変動をどう分析しているのか。

また、その施策について伺う。

【答弁】低所得階層が急速に広がり、日常生活の経済負担等厳しい状況にあると認識している。

より生活実態を分析し、今後に向け対策を検討する。

【質問】今冬の厳しい寒波、灯油価格の高騰は、生活弱者の生活を直撃している。

全道的にも福祉灯油の実施市町村が広がった。

根室市としてなぜ実施できなかったの

か伺う。

【答弁】三月一日現在、灯油価格が百四円であった。

百十円を超えた段階で検討することにしており、以前より急激な価格上昇がなく実施しなかった。

【質問】根室空襲で多くの犠牲者が出ており、飛行場跡、トーチカ等の「戦争遺産」の「記憶と記録」を残す考え方を伺う。

【答弁】戦争遺産の活用、「平和の礎」等を他都市の例を参考に検討する。

戦争遺産の保存と活用、遺産の説明板等の設置をしたい。

一般質問



本田 俊治 議員

【質問】新年度予算編成における多額の市債発行（二十四億二千万円）は、「自立可能な行財政基盤の確立」という行政改革の基本方針とかけ離れている。

この点をどのように捉え、将来推計しているのか伺う。

【答弁】喫緊の課題である高齢者、防災・減災対策に係る事業が集中し、国の有利な補助制度等を活用した結果、起債の発行が大幅に増加。

公債費を含む義務的経費の適正化は健全な財政運営に必要な不可欠。

自立可能な行財政基盤の確立に努め

る。

【質問】機能充実した新病院で迎える平成二十五年度は、収支不足解消のための多額の一般会計繰出金の圧縮等何としても病院経営に見通し、道筋を付けなければならぬ年度。全庁的な取り組みが必要と考える。

【答弁】新病院の運用開始を踏まえ、改革プラン最終年度でもあることから、持続可能な病院経営を目指す経営健全化への取り組みが急務であり、病院機構改革の状況を基に、事務局の状況を見極めながら各種課題解決に向けて取り組みたい。

一般質問



瀬谷 周平 議員

【質問】事務事業の実施にあたっては、有効性や緊急性など費用対効果が大事であるが、病院会計への多額の繰出金の評価について。

【答弁】限られた財源の中、多額な繰出金を措置することは、困難な状況であり、病院事業の経営健全化は最優先課題の一つと考える。

【質問】管理監督職員の保身的事務方からの脱皮こそが行財政改革の根源と考えるが、民間意識をもった事業執行の認識について。

【答弁】最小の経費で最大の効果が得られ

るよう職員一人ひとりが知恵と工夫を凝らし限られた行政資源を有効活用して将来の変化に対応する自立可能な行政基盤の構築に努める。

【質問】事業執行での業務管理が適正に行われているのか疑問がある。

結果処理になっていと思うが公務職責の認識について。

【答弁】指摘も踏まえ今後とも職責に応じた人材育成と業務管理チェック体制による事業の進捗確認をはじめ課内ミーティングなどで実行性の確保を図る。

一般質問



永洞 均 議員

【質問】ベトナム経済ミッションは三年連続の市長を団長としたトップセールスを展開し、一定の成果が見られるが、今後は個別商談の支援や消費者PR事業の強化を図るべき。

【答弁】提案は課題としてしっかり受け止める。現地の大使館、JETRO事務所、さらに地方政府の機能を活用し「民間主体」「商談ベース」の取組みに改めていく。

【質問】市内向け消費者還元ポイントの新規事業として調査研究の予定だが、二十年の歴史を持つ「は

なちゃんスタンプ」の実績を評価した上で進めるべき。

【答弁】はなちゃんスタンプの実績を評価研究し、市内小売店等に広く受け入れられる方式の可能性を調査する。

【質問】老朽化対策、耐震化対策が必要な唯一の屋内スポーツ施設である青少年センターの改築が必要。

【答弁】二十七年度からのスポーツ振興計画の中に、総合体育館構想の位置づけも視野に置き、市民各層の議論もふまえ今後のあり方を検討したい。

第一回定例会各委員会質疑

◆予算審査特別委員会

予算審査特別委員会では、三月十五日及び十八・十九日、並びに二十一日の四日間にわたり、平成二十五年度の予算について質疑を行いました。

主な質疑の内容は、次のとおりです。

*一般会計

【総務費】

- ・北方領土関係予算に関わる財源確保の庁内論議の必要性と施策への反映について
- ・今後の津波対策計画等の作成の考え方について

【民生費】

- ・老人福祉施設建設等補助事業における施設の増床に伴う行政としての評価と今後の課題について
- ・次世代育成支援対策行動計画の総括の必要性と今後の考え方について

【衛生費】

- ・分娩入院交通費補助の利用者数の減少傾向に対する考え方と増額の考え方について

【労働費】

- ・市民環境が変化する中での今後の労働行政のあり方について
- ・若年者等正規雇用奨励補助金・若年者等定住・就職奨励補助金の予算措置に対する考え方と制度周知の必要性について

【農林水産業費】

- ・水産資源増大事業の財源内訳と今後の財源確保に対する考え方について
- ・エソシカによる被害減少を図るための関係団体との連携の必要性について

【商工費】

- ・観光物産センターの今後の施設に対する考え方と耐用年数について
- ・空き店舗出店支援事業の推進に伴う空き店舗の情報収集の必要性と対象エリアについて

【土木費】

- ・市民の生活道路となる道路の補修に対する今後の考え方について
- ・防災対応の面からも重要な海岸の保全に向けた全市的な考え方について
- ・既存の市営住宅の耐震診断と西浜町・駒場町市営住宅の更新計画について

【消防費】

- ・車両更新や消防無線等の整備計画の位置づけとその考え方について
- ・災害時における消防体制の強化を図るための予算措置の必要性について

【教育費】

- ・学校統廃合を進めるうえでは、教育環境の整備だけではなく、地域づくり・街づくりの観点から考えるべき姿であり、少子化による学校のあるべき姿について
- ・温水プール指定管理受託者が、社会体育施設の理念等とは違っていることについて

【公債費・予備費】

- ・臨時財政対策債の償還の推移と今後の発行の見込みについて

【市税・市債】

- ・税収の見通しと交付税の今後の見込みに対する考え方について

*国民健康保険特別会計

- ・特定健診受診率の検証と今後の受診率向上の取り組みに対する啓発努力について

*流通加工センター汚水処理特別会計

- ・コンビナート公社の運営に対する今後の対応と方向付けについて

*介護保険特別会計

- ・高齢化が進む中、今後の介護保険継続のための基金運用などの総合的な考え方について

*後期高齢者医療特別会計

- ・健康診査の受診率向上等の取り組みについて

*港湾整備事業会計

- ・津波等震災時における防潮堤の嵩上げを含めた防災対策及び避難計画のあり方について

*水道事業会計

- ・水道料金の全道的な水準と水道会計の今後の見通しについて

*下水道事業会計

- ・水洗化率の推移を含めた状況と今後の見込みについて

*病院事業会計

- ・分娩再開に向けた取り組み状況と、産婦人科、新生児専門の医師確保の状況について

- ・一般会計からの補助金にかかわり、医療収入増を図るための経営改善に向けた施策の取り組みについて

★いずれも原案のとおり可決すべきことに決定いたしました。

◆ 常任委員会

各常任委員会では、三月十四日に条例改正案などについて質疑を行いました。
各常任委員会における主な議案の内容と審査結果は次のとおりです。

● 総務常任委員会

「根室市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例」

・ 看護師の離職防止と人員確保対策を強化するため、看護師等の深夜勤務手当を改正する内容です。

「根室市手数料条例の一部を改正する条例」
・ 都市の低炭素化の促進に関する法律の施行に伴い、低炭素建築物新築等計画の認定手数料を定める内容です。

★ いずれも全会一致で、「可決すべきことに」決定

● 文教厚生常任委員会

「根室市特別奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例」

・ 根室市医師及び医療従事者修学資金貸付条例の改正に伴い、貸付対象者を水産学に特化すること及び貸付金額を改正する内容です。

「根室市暴力団排除条例」

・ 安全で安心したまちづくりを推進するため、根室市における暴力団排除についての基本理念及び施策の基本となる事項等を定める内容です。

「根室市廃棄物処理施設設置条例の一部を改正する条例」

・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正に伴い、技術管理者の資格等の規定を追加

する内容です。

「根室市福祉交流館条例」

・ 根室市福祉交流館の設置及び実施事業、開館時間及び休館日、利用対象者等を定める内容です。

「根室市新型インフルエンザ等対策本部条例」

・ 新型インフルエンザ等対策特別措置法の公布に伴い、新型インフルエンザ等緊急事態宣言がされた場合に、市が設置する対策本部の組織体制等について定める内容です。
「指定管理者の指定について（市立はばまい保育所）」

・ 根室市はばまい保育所の指定管理者を「社会福祉法人 瑠瑠瑠福祉会」に指定する内容です。

「指定管理者の指定について（児童デイサービスセンター）」

・ 根室市児童デイサービスセンターの指定管理者を「社会福祉法人 北海道社会福祉事業団」に指定する内容です。

★ いずれも全会一致で、「可決すべきことに」決定

● 産業建設常任委員会

「根室市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例」

・ 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の公布に伴い、水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める内容です

★ いずれも全会一致で、「可決すべきことに」決定

平成25年 第 1 回根室市議会定例会 意見書案採決一覧表

意見書案	議 件 名	賛 否 (○ ×)							
		市政クラブ	新風	創志クラブ	日本共産党	壺田	瀬谷	本田	副議長
第 1 号	「安心できる介護制度の実現を求める」意見書	○	○	○	○	○	○	○	○
第 2 号	札幌航空交通管制部の存続・充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○
第 3 号	T P P 交渉参加断固反対に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○
第 4 号	泊原発の再稼働に対する意見書	○	○	×	○	○	○	○	×
第 5 号	生活保護制度の見直しに関する意見書	○	○	×	○	×	×	×	×

平成25年 第1回根室市議会定例会 各条例等採決一覧表

議 案	議 件 名	賛 否 (○ ×)							
		市 政 ク ラ ブ	新 風	創 志 ク ラ ブ	日 本 共 産 党	壺 田	瀬 谷	本 田	副 議 長
第 1 号	根室市議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 2 号	根室市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 3 号	根室市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 4 号	根室市特別奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 5 号	根室市暴力団排除条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 6 号	根室市廃棄物処理施設設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 7 号	根室市福祉交流館条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 8 号	障害者自立支援法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 9 号	根室市介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 10 号	根室市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 11 号	根室市介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 12 号	根室市保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 13 号	根室市新型インフルエンザ等対策本部条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 14 号	根室市道路の構造の技術的基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 15 号	根室市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 16 号	根室市高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 17 号	根室市都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 18 号	根室市高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 19 号	根室市営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 20 号	根室市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 21 号	根室市下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
第 22 号	指定管理者の指定について（根室市立はばまい保育所）	○	○	○	○	○	○	○	○
第 23 号	指定管理者の指定について（根室市児童デイサービスセンター）	○	○	○	○	○	○	○	○
第 42 号	和解に関することについて	○	○	○	○	○	○	○	○
第 44 号	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○
第 46 号	根室市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○
第 47 号	根室市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○

平成25年 第 1 回根室市議会定例会 予算関係採決一覧表

議 案	議 件 名	賛 否 (○ ×)							
		市政 クラブ	新 風	創 志 ク ラ ブ	日 本 共 産 党	壺 田	瀬 谷	本 田	副 議 長
第 24 号	平成25年度根室市一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○
第 25 号	平成25年度根室市市民交通傷害共済事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○
第 26 号	平成25年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定予算	○	○	○	×	○	○	○	○
第 27 号	平成25年度根室市流通加工センター汚水処理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○
第 28 号	平成25年度根室市農業用水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○
第 29 号	平成25年度根室市介護保険特別会計事業勘定予算	○	○	○	×	○	○	○	○
第 30 号	平成25年度根室市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○
第 31 号	平成25年度根室市港湾整備事業会計予算	○	○	○	×	○	×	○	○
第 32 号	平成25年度根室市水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○
第 33 号	平成25年度根室市下水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○
第 34 号	平成25年度市立根室病院事業会計予算	○	○	○	×	○	×	○	○
第 35 号	平成24年度根室市一般会計補正予算 (第 5 号)	○	○	○	○	○	○	○	○
第 36 号	平成24年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○
第 37 号	平成24年度根室市農業用水事業特別会計補正予算 (第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○
第 38 号	平成24年度根室市港湾整備事業会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○
第 39 号	平成24年度根室市水道事業会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○
第 40 号	平成24年度根室市下水道事業会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○
第 41 号	平成24年度市立根室病院事業会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○
第 43 号	平成24年度市立根室病院事業会計補正予算 (第 5 号)	○	○	○	○	○	○	○	○
第 45 号	平成24年度根室市一般会計補正予算 (第 6 号)	○	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 1 号	専決処分の承認を求めることについて (平成24年度根室市一般会計補正予算 (専決第 2 号))	○	○	○	○	○	○	○	○
報 告 第 2 号	専決処分の承認を求めることについて (平成24年度市立根室病院事業会計補正予算 (専決第 1 号))	○	○	○	○	○	○	○	○

「市議会だより」も試行錯誤しながら第一号を発行して以来、今回で四回目の発行となり、定例会ベースで一年を迎えることになりました。このことは紙面の都合で議員各位には文字数等の厳しい制限があり、納得のいく報告内容では無かる市民の皆様にも、制約された内容表現で分る議論の中での抜粋した内容でしかありません。ご理解頂ければと思います。次の六月議会が任期中の最終議会となり、また議会改革を進める中で、一問一答を導入する最初の議会であり、どのように議会改革が行われてゆくのか注目されるべき議会でもあります。議場にお一人でも市民の皆様が傍聴に来られ入って、いつもと違う緊張感と、議論について熱い個人的な応援でも、ちょっとした興味本位で頂ければ幸いです。議会傍聴にお越しになって

編集後記

平成25年 第2回市議会定例会日程(予定)

- ▶開会日 平成25年 6月18日(火)
- ▶会 期 4日間
- ▶日 程
 - ・ 6月18日(火) 本会議 (一般質問)
 - ・ 6月19日(水) 本会議 (一般質問)
 - ・ 6月20日(木) 各常任委員会
 - ・ 6月21日(金) 予算審査特別委員会
～本会議

※会期の日程等の詳細や変更がある場合については、議会運営委員会において決定後、市のホームページでお知らせいたします。